安全データシート

作成日　2021 年 3 月 8 日（初　　版）
改訂日　2026 年 8 月 8 日（第 04 版）

１．化学品及び会社情報

製品の名称　：ルーター（複合液肥 GA3 号）
会社名　：ユーピーエルジャパン合同会社
住所　：東京都中央区日本橋一丁目 4 番 1 号
担当部門　：SCM 本部　SDS 担当
電話番号　：03-5203-9387（事故等による急性中毒は下記の公益財団法人日本中毒情報センターに連絡すること。）
（**製品の使用方法は、03-5203-9350 に連絡すること。**）
緊急連絡電話番号　：公益財団法人　日本中毒情報センター
事故に伴い急性中毒のおそれがある場合に限る。

中毒 110 番	一般市民専用電話 （情報提供料：無料）	医療機関専用有料電話 （情報提供料：1 件 2,000 円）
大　阪（365 日、24 時間対応）	072-727-2499	072-726-9923
つくば（365 日、24 時間対応）	029-852-9999	029-851-9999
なお、弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の情報提供料（1 件 2,000 円）は弊社が負担致します。		

整理番号　：UPLFE_12-輸 104262-04
推奨用途及び使用上の制限：肥料以外の使用は不可

２．危険有害性の要約

GHS 分類　：金属腐食性化学品　区分 1
皮膚腐食性/刺激性　区分 1 B
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性　区分 1

その他の危険有害性は、「区分外」、「分類対象外」あるいは「分類できない」である。

GHS ラベル要素
絵表示　：



注意喚起語　：危険
危険有害性情報　：金属腐食のおそれ
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷

注意書き :【安全対策】
他の容器に移し替えないこと。
ミストを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
保護手袋、保護衣、保護メガネ、保護マスクを着用すること。
【応急措置】
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【またはシャワー】で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
【保管】
施錠して保管すること。
着火源や直射日光を避け、冷暗所に密封して保管すること。
【廃棄】
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託するなど適切に廃棄する。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物
製品名 ：ルーター（複合液肥 GA3 号）
成分及び含有量

成分	水溶性りん酸	加里全量
含有量（%）	11.9	4.0（内水溶性加里：4.0）
官報公示整理番号	非公開	非公開
CAS 番号	非公開	非公開

注）含有量は保証成分量である。

危険有害成分

成分	りん酸
含有量（%）	7.5
官報公示整理番号	（1）-422 （化審法・安衛法）
CAS 番号	7664-38-2

４．応急措置

吸入した場合　：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【またはシャワー】で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合　：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の
最も重要な徴候症状　：重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

応急処置をする者の保護：暴露による二次災害の防止のため、『８．暴露防止及び保護措置』の保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項：情報なし

５．火災時の措置

消火剤　：粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、乾燥砂類など

使ってはならない消火剤：直接の棒状注水（飛散及び火災の延焼を避けるため）

火災時の特定危険有害性：火災時には、刺激性で有害なガスを放出する可能性があるので、消火作業時には煙を吸入しないように注意する。

消火を行う者の保護　：消火作業の際には、呼吸器用保護具、保護帽、保護メガネ、保護手袋、耐火性防護服を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具及び緊急措置　：風下の人を避難させ、風上より作業する。
密閉された場所に立ち入る前に換気する。
全ての着火源（熱、火花、裸火、高温、静電気放電等）を取除く。
直ちに、すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。
漏出物の処理を行う際には、適切な保護具（『８．暴露防止及び保護措置』の項を参照）を着用する。

適切な消火剤（『５．火災時の措置』を参照）を準備する。
環境に対する注意事項：漏出物や汚染洗浄水が河川等に流入しないように堰き止め、環境中に放出させない。
封じ込め及び浄化の方法・機材：少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
大量の場合は、周辺を土砂で覆って流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。
二次災害の防止策　：危険でなければ、漏出源を遮断し、漏れを止める。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策　：局所排気、全体換気を行う。(『８．暴露防止及び保護措置』を参照)
安全取扱注意事項　：適切な保護具を着用すること。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
取扱い後は、よく手を洗うこと。
接触回避　：『１０．安定性及び反応性』を参照。
衛生対策　：取扱い後は手足、顔などを石鹸でよく洗い、洗眼、うがいをすると共に衣服を交換すること。

保管
技術的対策　：関連法規に従う。
混触危険物質　：『１０．安定性及び反応性』を参照。
保管条件　：着火源や直射日光を避け、低温で乾燥した場所に密閉して保管すること。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策　：局所排気装置の設置、設備の密閉化、又は全体換気を適正に行う。
取扱い作業場の近くに手洗い・洗眼設備、安全シャワー等を設置すること。
管理濃度　：未設定
許容濃度
日本産業衛生学会　：1mg/㎥（りん酸）
ACGIH　：TLV-TWA　1mg/㎥（りん酸）
TLV-STEL　3mg/g^3（りん酸）

保護具
呼吸器用の保護具　：保護マスク
手の保護具　：保護手袋
眼の保護具　：保護メガネ
皮膚及び身体の保護具：長袖保護衣

９．物理的及び化学的性質

物理状態　：液体
色　：類緑色
臭い　：特有臭
融点／凝固点　：データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし
可燃性　：可燃性物質ではない。
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：データなし
引火点　：データなし
自然発火点　：データなし
分解温度　：データなし
pH　：1.6～2.1
動粘性率　：データなし
溶解度　：データなし
n-オクタノール／水分配係数：適用不可
蒸気圧　：データなし
密度及び／又は相対密度：1.151～1.166
相対ガス密度　：データなし
粒子特性　：適用不可

１０．安定性及び反応性

安定性　：加熱分解物として腐食性蒸気を生じる。
危険有害反応可能性　：通常の保管・取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件　：加熱、直射日光
混触危険物質　：強力な酸化剤及びアルカリ剤
危険有害な分解生成物：有毒なヒューム（りん酸化物）、一酸化炭素、二酸化炭素、熱により腐食性蒸気

１１．有害性情報

急性毒性　経口　：データがないため、分類できない。
　　経皮　：データがないため、分類できない。
　　吸入　：データがないため、分類できない。
皮膚腐食性／刺激性　：区分１B（pH1.6～2.1）
眼に対する重篤な損傷／刺激性：区分１（pH1.6～2.1）
呼吸器感作性又は皮膚感作性
　呼吸器感作性　：データがないため、分類できない。
　皮膚感作性　：データがないため、分類できない。
生殖細胞変異原性　：データがないため、分類できない。
発がん性　：データがないため、分類できない。
生殖毒性　：データがないため、分類できない。
特定標的臓器毒性（単回暴露）：データがないため、分類できない。

特定標的臓器毒性（反復暴露）：データがないため、分類できない。
誤えん有害性　　：データがないため、分類できない。

１２．環境影響情報

生態毒性
　水生環境有害性
　　短期（急性）　：データがないため、分類できない。
　　長期（慢性）　：データがないため、分類できない。
残留性／分解性　：情報なし
生体蓄積性　　：蓄積性なし
土壌中の移動性　：情報なし
オゾン層有害性　：オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書の附属書に列記された規制物質を含まない。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　　：都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託するなど適切に廃棄する。
汚染容器及び包装　：空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。
関連法規及び地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

１４．輸送上の注意

国際規制
　国連番号　　：該当なし
　国連分類　　：該当なし
国内規制　　：『１５．適用法令』の項を参照の上、規定の積載方法、容器等によって輸送する。
特別安全対策　　：食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
輸送前に容器の破損、腐食等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号：154

１５．適用法令

肥料取締法　　：登録番号　輸第 104262 号
労働安全衛生法
　名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条、施行令第 18 条別表第 9）
　　：りん酸
　名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9）
　　：りん酸
　リスクアセスメントを実施すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 3）
　　：りん酸

船舶安全法　　：腐食性物質
航空法　　：腐食性物質

１６．その他の情報

引用文献

職場のあんぜんサイト：化学物質：りん酸

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。
この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。したがって、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いします。